

まちの話題



十曾で県際交流



9月21日、Jisso こどもの森でフルムーン・キャンドル・ナイトが開催されました。鹿児島、熊本、宮崎の有志により企画された、満月に合わせて行う県際交流イベントです。

昼は、ISAnoBA（伊佐の場）と題したマルシェ（市場）を開催。食べ物や雑貨の出店、ワークショップで親子連れを中心とした来場客が楽しむ姿が見られました。

夜は、キャンドルの光の中で、食事、音楽、ダンスを楽しみながら交流しました。

戦後70年を前に 学童疎開について学ぶ



伊佐市と姉妹都市盟約を結んでいる西之表市から、太平洋戦争時代に学童疎開で親交のあった山野校区を下西小学校児童19人と関係者3人が訪れ、山野小児童13人と交流学習を行いました。

玉入れなどのレクリエーションや互いのまちの紹介で親睦を深めたあと、山野在住の中村貞幸さん（80歳）から疎開当時の話を聞き、平和の大切さや現代の恵まれた環境の幸せを改めて感じていました。

来年は終戦70周年、姉妹都市の深い縁をより緊密なものにしていきましょう。



キング様サッカー元日本代表と共演

10月9日、大山酒造で「伊佐大泉」のCM第2段の撮影がありました。今回は、元サッカー日本代表の前園真聖さん（旧東郷町出身）とイーキング共演で、焼酎造りをお手伝いする「男の修行編」です。

11月から2か月間、放送されます。

貸切バス事業者安全性評価 ニツ星認定



日本バス協会より、貸切バス事業者の中でも特に安全に対する取組み状況が優良なバス会社として、伊佐交通観光株式会社がニツ星の認定を受けました。県内では2社のみです。(H26.10.1時点)

同社のバスには、優良バスを意味する「セーフティバスマーク」が貼付されます。古田社長は「今後も会社が所有するバスやタクシーにドライブレコーダーを設置するなど、更なる安全意識向上に努めたい」と意欲を語りました。

フレンドハウスにピアノ寄贈



十曾青少年旅行村内にある木材をふんだんに使用した建物「十曾フレンドハウス」にピアノが設置されました。伊佐市在住の方から寄贈され、建物にちなみ「フレンドピアノ」と呼ばれています。夏のキャンプ時はもちろん、冬場にもダンスや和太鼓など、さまざまなイベントで活躍しそうです。

3,300 個の貝標本寄贈



湯之尾出身で元県立博物館学芸指導員の古川美年生さん(88歳)が、これまで収集した貝の標本3,300個(250箱)を伊佐市教育委員会に寄贈してくださいました。貴重な資料の提供を受け、森教育長から感謝状が贈られ、貝の標本は菱刈ふるさといきがいセンター2階の郷土資料館に展示されています。

ボランティア作業



10月10日、環境保全協会伊佐支部の皆さんが、大口ふれあいセンター横の通りと用水路をボランティアで清掃してくださいました。1時間半を超える作業で、落ち葉や雑草が片付けられ、通りはすっかり綺麗になりました。

新設中学校にベンチ等寄贈



平成27年度に開校する中央中学校(現大口中学校)のテニスコート新設に際し、(株)藤井建設様からベンチ2脚とテニスボール2ケースをいただきました。9月25日、藤井社長から贈呈された大口中学校テニス部員は「大切に使います」と感謝の言葉を述べました。